

三好さんの講演を聞いて、阪神・淡路大震災  
がどんなに大変だったか改めて知りました。

また、阪神・淡路大震災がおきて、神戸新聞の本社  
の建物がこわれても、新聞をつくりつづけていた  
人たちの姿を知ることができました。

いろいろなことを教えてくださってありがとうございました。

今回は葺合中学校に講演に来ていただきありがとう

ございました。話を聞いていて神戸新聞社に5年生のとき  
校外学習で行ったときのことを思い出しました。

新聞をつくるまでの道のりは長いと思いますが、

これからもがんばってください。

三好さんの話を聞いてたった一日で新聞をつくるなんて驚きました。  
理由は、文字の录入や書く場所などが早く戻って出来てい  
たのでうれしかった。映画を

少時見れなかったけど、大地震が来たとき落ち着い  
て行動していたし、朝から新聞をくほっていた人もテレビとかから  
聞いて良かったと思いました。

私は三好さんの話を聞いて、まず「記者の仕事をしているとたくさんの人に出会えるんだな」と思いました。

阪神、淡路大震災の時も休刊の危機を乗り越えて新聞を作っていることに、記者さんたちの新聞への熱い思いが伝わりました。

私の家では、新聞をとって読みます。文章を読むのは好きですが、新聞は、見出しが書いていて気になるものを選んで読むことができるので、とても好きです。

1つの新聞(=コロナウイルスに関する記事)が40個ほどあってびっくりしました。もっと新聞のことを知りたくまりました。

三好さん今日は私たちのために神戸新聞について話していただき誠にありがとうございました。私は阪神淡路大震災のときのために他の新聞社と協力して新聞を作っていました。

今まで新聞には目も届かなかったけどこれからは私も読んでみようと思います。

新聞は、読む機会が少なく、あまり読んでいなかったため新聞について知れて嬉しかったです。新聞を作るのは大変で、特に神戸新聞社は人数が少ない部署があると聞いて、すごいぞかいいんだなと思いました。取材は必ず、あちこちに行き、取材をしないと聞くと、すごく大変だと思います。そんな中、来てくださりありがとうございます。

私は今社会で起きていることを知るのには、テレビやネットニュースばかりで新聞には興味を持たなかったけど、三好さんの講演を聞いて新聞に興味を持つことができました。新聞はどのように作られているのか知ったときに、すごいぞかいいそうにしていて大変そうだと思います。これから新聞を読むことがあったら細かいところまで見てみようと思います。三好さん本当にありがとうございます。

私たちに神戸新聞社についての講演をしていただきありがとうございました。前までは読まなかった新聞に興味をもちました。これからは自ら進んで新聞を読んでいきたいです。しかも阪神あわじ大震災の中でも新聞をつくっていたことにおどろきました。思いがこめられた新聞を読むと勇気がでたと思います。そのような新聞をつくりあげていく神戸新聞社さんはすごいと思いました。

どんな時も新聞をみた人たちのために必死に  
作成しているのが伝わりました。

新聞づくりにかかるとは、つくるはあまり難かしく  
ないだろうと思っていたけど、実はすごく難しかった  
ということを知っておどろきました。

私達のために、お急がしい申来てくださり、ありがとうございます。  
私は今まで新聞であまり興味を持ってなかったし、震災を体験して  
いない私達は、地震のひどさも知らず、人々の幸さも分かりません  
でした。ですがこのお話を聞いて、あたり前のように過ごしている  
今が、本当にありがたい、大切な時間であることを、改めて学びまし  
た。大事な情報を得るため、たまには新聞を読もうと思います。

僕が三好さんの話を聞いて得られたのは地震のこ  
わさと三好さんが経験したことです。地震の方では  
写真や映像を見してもらいました。映像の方では  
再現とかが高かったです。

しばらくはいい残ったのは阪神・淡路大震災のお話です。しばらくは奥さんは休んでいなければいけませんが、あなたはまだものを専門なので忘れないように後世に話していきなさい。そして、今後起きるかもしれない南海トラフを覚えておきなさい。

僕は神戸新聞を見て、「あたま」が「カク」が「ヘソ」など知って、新聞にも体があるんだと知りました。どくしゃにも分かります。「あたま、カク、ヘソ」に分かれて書くのはとてもセンスがあって、少しビックリしました。神戸新聞を読んで、少し神戸新聞にまじり込みをもちました。

1時間目には、神戸新聞の記事について知りました。新型コロナウイルス関連の記事が思ったよりもたくさんあっておどろきました。「コロナ」というワードが入っていても、コロナがあることで起きた出来事に関連記事も多いんだな、と感じました。2時間目には阪神淡路大震災について学びました。身近な災害だったのでこれまでも学ぶ機会が多かったけれど、実際に体験した人のお話を聞くのは重みを感じる、と思いました。この重みを、年下の子供たちにも引きついでいきたいと思います。

僕は、三好さんの講演を聞いて これまでにはこんな悲しい出来事がたくさんあったなと思いました。このこと知ってルミナリエを見る目も変わると思います。

三好さんの講演を聞いて地震が急に自分たちのあたりまで生活にくずしてしまおうおそろしい自然災害だということも思われしました。

ここ最近に神戸でも地震があって講演を聞いた5日後ぐらいたたので大地震がいつおきても大丈夫なように防災リュックを作りました。講演をしてくれたからリュックを作れたので色々な事、中学生に教社にしてください。

神戸新聞をつくることかできなくなりそうなときにも新聞をつけたことや、新聞をつくる工程が特に印象に残りました。そして、普段新聞を言売まないけど、見出しを見て面白そうなものかあたら言売んでみようと思いました。僕たちに新聞のことを教えなくてありがとうございました。

実際に新聞を手にとることがあまりなかった中で、手に取ってお話を聞けたのがすごく良かったし、その中からコロナ関係の記事を探していると、最新のニュースがたくさんあって面白かったことで、おかげで、新聞を手にとり、読みたいように思いました。また、阪神淡路大震災の当時のことだけでなく、地震がおきる前の様子や、おきる前の新聞の状況などたくさん知ることができてすごく勉強になりました！ありがとうございました。

あの新聞たった一面でも木暮さんの人のチカラができていて初めて知った。いろいろな有名人と会ったと聞いて、僕も新聞記者になって記者会見とかに行き、結婚報告などもした有名人の写真を撮ったり声を聞いたりしたいです。自分の好きな人ともっと会ってみたいです。

このキャリア学習で新聞はニュースの配置だったりとかを工夫して作られているんだと分かりました。そして二時間目の地震の話では、神戸新聞社は地震が起きてても読者に正確で安心してもらえるような新聞を作ったことがすごいと思いました。暮合中学校に来っていただきありがとうございました。

今日のお話を聞いて災害があっても、  
新聞をつくり続けた神戸新聞社に、  
すごいと思いました。

色々教えてくださいありがとうございました。  
阪神・淡路大震災がものすごく大変だったことを学び  
ました。その時に神戸新聞社さんたちは記事を書き  
続けたのはすごいと思いました。ほかにも新聞紙の  
しくみにも色々知れてうれしかったです。本当に  
ありがとうございました。

神戸新聞社さんは、阪神・淡路大震災が起きた時、  
カメラをもって、被害のあった場所を写真におさえていました。  
ビルがたおれている写真や地面にひびが入って割れている  
写真もありました。そんな写真のおかげで、阪神・淡路大震災  
で被害を受けていない人でも、その状況を知ることができま  
す。改めて、災害にそばえていきたいと思いました。



新聞社で働く人は、夜もおきて、朝も早くからたくさんのお仕事を私たちにとじてくれていることが分かりました。  
どんなしょうきょうでも毎日お仕事を新聞をつくらせてくださっている。たくさんのお仕事をしてくれていると思います。

私は字を読むのが苦手だったので新聞を読むのは苦手でしたが講演を聞いて新聞に興味をもちました。また読みたくなりました。神戸新聞社はたくさんのお仕事をしてくれて私たちがのびのびと生活しているのを知っておどろきました。私たちのためにありがとうございました。これからもがんばってください。

三好さんへ

今日は新聞の事とか仕事の事色々教えてくれてありがとうございました。実際に新聞社の中に居た人と会ったのは初めてで、大変な仕事だろうなと思いました。新聞を作るには、大勢の人が働いているのを知ることができたから、私も新聞を読んでみたいと思いました。

私は新聞を全然読んだことがありませんでした。  
でも、この授業で少し開いて見ると、その日に一番話題に  
なった事が最初のページに大きく書いてあることがエ夫さ  
れてておもしろいなと思いました。

ぼくは、三好さんの講演を聞いて神戸新聞社は、  
阪神淡路大震災の時でも皆のために最新のしょうほう  
を伝えてくれるのはとてもすごいなあと思いました。  
神戸新聞社は、みんなしているみんなが不安でなご  
ちまうためにがんばっているのにもすごいなあと思  
いました。

新聞を毎日つくって届けるのは朝から大変だと思いました。  
1つの記事でもたくさんの方が関わっていておどろきました。  
あまり、新聞を読むことがなかったの、どんなふうにつくられ  
ているのか知らなかったけど、今回の講演を聞いて少し興味  
をもちました。阪神・淡路大震災についても毎年しているけど実際に  
体験したわけじゃないのでこわいということしか分からなかったけど、今回の話を  
聞いて大変なんだと感じました。ありがとうございました。

ぼくは、あまり新聞をよまなかったけど、三好さんの講演を聞いて、新聞をよむようになりました。新聞についておぼえてくださってありがとうございました。

三好さんへ、僕は講演を聞いて、新聞社の見出しのつくり方が、震災の大変さを伝えていて、とても新聞の大切りや、神戸新聞の大変な時でも新聞を皆に届けていたことに、僕は圧感されました。これからは、新聞で僕たちに、色々な情報や、物事を伝えてください。講演ありがとうございました。

神戸新聞には工夫して新聞の作業をおこなっていることがわかりました。私はお話を聞いて新聞に興味をもちました。阪神・淡路大震災では苦労して作った新聞をたくさんの方々に届けていたことと、思いました。

私は、三好さんの講演を聞いて、神戸新聞のしくみができるまでのことを知って、見出しや最初の文でもいいから新聞を読んでもいいと思いました。そして、地しんの時でも人々に域内の知らせをしようというあきらめのない姿勢がとてもすごかったです。

僕は三好さんの話とビデオを見て、新聞ができあがるまでそんなことするんやー、とか、え、知らんわー...と思、ていましたが、いつも体育館に行くと眼くち、ちや、何回か先生に起こされかけたが、これからち注意していきたいです。話していただきありがとうございます。

ぼくは、キャリア学習の時休んでいていながら、たけの外には、あったパネルなどを見て、字とすこすかかわってました。その現場には、いながらたけど、たぶんぼくがじしんの現場にいたら、ここにはいないってかんがえるんですけど、じしんの大事さ、っていうのがあったわ、ってまた。

今回は、僕たちに新聞のことと震災のことをお話ししてくれてありがとうございました。新聞は、格別なのが、かみさんそうにみえてじつは、けっこうたいへんだらたことにびっくりしました。

三好さんの講演を聞いて、新聞社同士の絆や信頼がいつも分厚いことが一番印象に残りました。阪神・淡路大震災の時、火事の時た自社で新聞を刷れなくとも、京都やその他の新聞社で刷れることができるほどの絆があり、無茶なお原稿も許諾する信頼があることが感心しました。

先日は、韮原学校に来ていただきありがとうございました。新聞のことと阪神・淡路大震災の二つのことを話していただき、僕が印象に残っているのは、阪神・淡路大震災の時の新聞社同士の協力あって新聞を刷るのことができたことです。地元の神戸新聞社でも使えない状態があった時に、京都新聞社が助けになって新聞を発行していることに感謝したからです。

僕は、このように、この先も大きな災害が起きないかと、同じ新聞を発行してあげてほしいと思います。

動画を見た後に 実際とは少し違って  
いると聞いて 経馬策した人がかかっている  
いても少しづつ変わるといってしまっている  
もしれないとも思いました。

神戸新聞社の歴史を聞いてよかったです。  
なかの歴史の中でいろいろなことがおきこ  
いて、テレビに神戸新聞がメインのものもあつて、こ  
すごいんだと思いました。  
自分は神戸新聞はしかり目に通じたことはないけど  
時間をかけて、いろいろに作っていると知りました。

私は、新聞社の仕事はあまり分からなかったけど、色  
んなことが知れたし多くの有名人にも会えるって知ったので  
楽しそうだなと思ったけど、時間に追われる仕事だなと  
も思いました。地震のことも知って自分がまた産ま  
れてないときに起こったからよく分からないところとかあ  
ったけど知れたので良かったです。

三好さんへ

先日は、私たちのために話をしてくれてありがとうございました。

三好さんの話はわかりやすくどれも印象に残るものでした。

三好さん色々教えてください、ありがとうございます

2時間講演を行ってくださりありがとうございました。

小学生のとき神戸新聞社に行く機会がありました。その時に  
聞くことができなかったお話を聞くことができたのでよかったです。

「神戸新聞の7日間」も地震について学ぶことができるドラマだと  
思ったので、始めから最後まで見ようと思いました。おもしろいな  
が本当にありがとうございました。

今回はわざわざ学校に来ていただきありがとうございました。新聞が出来るまでの道のりや、災害の恐ろしさ、震災でどのようなことがあったのか、教えて下さりありがとうございました。とても分かりやすかったです。いただいた名刺は、大事に保管しております。

私は「中高こども新聞」を毎週とっているのですが、自分の気になるニュースだけを読んでいた。ですが三好さんの講演を聞きいろいろなニュースをインターネットだけじゃなく新聞でも読んでみようと思いました。また、他の新聞社が出版している新聞と読み比べをしてみたいと思いました。忙しい中、中学校で講演をしていただきありがとうございました。楽しかったです。

休んでて聞けなかったのもうた聞ける時があったら聞きたいです。友達からも色々と言話を聞きたいです。私も新聞を取っているのを読みます。



私達、菁中生のためにお時間頂まありがとうございました。  
 ました。日頃、自分は新聞を読んでいませんが、  
 おばあちゃん家に行くとき新聞が必ずあります。正  
 直、新聞を読むのは好きじゃないです。でも今回の授業で神戸  
 新聞社さんは阪神淡路大震災を乗り越え、努力を積み  
 重ね新聞を提供していることを知り、新聞への見方が変わりました。  
 私達のために本当にありがとうございました。

新聞社の三好さんから新聞のことを聞いて新聞は  
 1日にたくさんつくっていることが分かってすごいか  
 と思いました。新聞のことを聞いてみて新聞を  
 読んでみたいと思いました。新聞の説明  
 もすごく分かりやすく、また新聞について  
 詳しく調べてみたいです。

三好さん 先日は私たちに新聞についてや阪神・あわじ大しん災  
 について教えていただきありがとうございました。話を聞いていて  
 おどろいたことがあります。それは阪神・あわじ大しん災が昔は阪神大しん  
 災とよばれていたことであわじ島でも死傷者はたくさんでいたのと思い  
 ました。先日は色々なことを教えてくださりありがとうございました。

講演をありがとうございました。私は、三好さんの講演を聞いて、新聞をつくるには、たくさんの方が関わっていて、その全員がとても頑張っていることが分かりました。その頑張りがあるから、神戸新聞があるのだなと感じ、すごいと思いました。これからも、神戸新聞マンに頑張っていてほしいです。

私は今回講演を聞いて、前よりも、新聞に興味をもつことができました。今まで知らなかった、新聞が作られるまでのことを知ることができて、すごいななど、たくさん発見することができました。今日は本当にありがとうございました。

神戸新聞社は、毎日休まずに新聞をつくられていると知っておどろきました。どんなことがあっても、色々な人と協力して新聞をつくられているのだなと思いました。

僕はあまり新聞に興味がなかったけど、三好さんの講演を聞いて新聞を読むのがたいがいになりました。

ありがとうございました。

三好さん

講演していただきありがとうございました。神戸新聞社は震災のなかでも、なんとか情報を発信しようとしていて、すごいなと思いました。そして、改めて震災の怖さについて知りました。なので、今ある命を大切にしようと思いました。

新聞をはこうするには、何度も見直しをして、色々な事を、さまざまな人でやって自分たちのとりにくるんだと知りました。神戸新聞は日にたくさん新聞を印さつていて、びっくりしました。文章を書いたするのは詩だけでなく、他にも写真などの専門的な所もあって文章とか詩でも大丈夫だつて、う事も知りました。

私たちのために、葺合中学校まで来ていただきありがとうございました。

私が一番心に残したのは、新聞を作るには、とても長い時間がかかるということ。取ざいに、行ったり、会議なども毎日、決まった時間内にできなくて、すごいと思いました。

阪神・淡路大震災の話では、自分たちと、ひかいいに、あつたのに、新聞を作ろうと、いう気持ちになるのは、本当にすごいと思いました。

三好正文さんへ

今回のキャリア学習では、おいそがしい中、講演をしていただきありがとうございます。三好さんの新聞の話は面白く楽しく聞くことができました。また震災については僕はあまり知らなかったのですが、今回のお話でよく分かり、震災とはすさまじいものなんだと改めて知りました。これからお仕事がんばってください。

私はあまり新聞を読まないのですが、震災の話を知って新聞を読んでみようと思いました。特にびっくりしたのは、神戸新聞社が震災前、あのような形の建物で、震災を経て今の新聞社になっているということです。私は震災にあつたことがなく、知っていることも少ないのですが、これだけは分かります。今の私たち、今の建物、今の土地などは、震災の時に苦労した人、辛かった人、悲しかった人がつくりあげてくれた、今の神戸があるということですね。たくさんのお話をありがとうございました。

私は、新聞をあまり読まなくて、よく分からなかったのではないかと思っていました。でも、どうつくられていくのかや、歴史などが分かりやすく説明してくれたおかげで聞きやすかったです。

初めてお会いするのに、あんなにスラスラと話せるのが、さすがだなと思いました。

12月2日 新聞学習ありがとうございました。私は、三好さんのお話を聞いて  
いつも「しゅざい」おっかさまと思いました。はじめ聞いた時「しゅざい」は渠だ  
と思っていました。でも話を聞いて「しゅざい」は大変だと思いました。だから、これから  
がんばってください。私たち77回生のみんなが神戸新聞をずっと  
まわっています。「こまかく」「くわしく」教えてくださいありがとうございます  
ございました。これからがんばってください。おうえんしています。

新聞社になるとたくさんのお話を聞けるようになりました。  
私の中では、文章を考えてそれを新聞にすると思っていた  
けど、現地に行き、情報を受け取ってそのままを文や写真  
で伝えるというとても楽しいとだと知りました。  
それを知って、新聞を細いところまで見てみようと思い  
ました。

地震でどれだけの人が亡くなったのかとか、どれだけの被害が  
あったのかとかをくわしく知って、とてもなりました。  
でも、三好さんのお話は、とても役に立つお話で、また、地震が  
きたときは、自分の頭を守って、三好さんみたいに、地震を体験  
していない人たちに、伝えていきたいです。  
ありがとうございました。

私は、新聞は番組表しか見ないけど、他の所を見る  
と色んなことが書かれていておもしろかったです。難し  
いことは、かり書いているんじゃないかと、重カ物のことが  
読みやすいものも書いていることが分かりました。  
なので、気に入った記事だけでも読みたいのです。  
自分達が、大変な時でも現場に行っているのか、が  
こいいと思えました。

朝刊、夕刊と毎日とんかコトが、あつてもだしにくることを  
聞いて、つみあげときた数を終わらさないのは、すご  
かった。災害が起つても速く新聞社に協力をもら  
だし発信することができるとおくとこの話が一番  
印象に残ります。いろんな出来事をもりのこえて毎日  
新聞を送ってもらうことには感謝です。

新聞を作るのに、ゆきだるまに行き、記事を書いてとつても  
大変だし本社にいる方々全員の新聞に支拂いしてあげたい  
けど、ゆきだるまは、神戸の大きなしん災で、新聞が  
つくれたくはないと思、たけど向があ、たときに  
京都の新聞の方にも協力していたらいい(同盟)?  
新聞をつくるという新聞をつくら、いる方々の  
その思いがいすごいと思、いましてありがとうございます。

三好さんへ

お忙しい中来てくれてありがとうございます。三好さんのお話を聞いて新聞に興味を持ちました。これから毎日神戸新聞を読みたいです。またいつかお会いして三好さんの話を聞かせてください。本当にありがとうございます。

先日はたくさんのお話ありがとうございました。僕は三好さんのお話を聞いて、新聞の大切さを矢口のことかできました。大震災の際、新聞を作ることかできなくなってしまったけれど、他の新聞社で新聞を作り、新聞を待っている人に、かならずとどけようという気持ちに感動しました。

ぼくは、ぼくたちの知らないところでどれだけ苦労して新聞を作っているのかを矢口されました。

毎日あたりまえのように新聞目があると思っていたのでびっくりしました。

このキャリア学習はよかったです

私は 神戸新聞社の「何かあってもお客さんのもとへ新聞が届ける」という考え方がすてきたなあと思いました。また、私はあまり新聞を読まないのので、新聞について知らない事がたくさんありましたが、三好さんの講演を聞き、新聞についての知識が少し増えました。このように、神戸新聞社やそこで作られる新聞について知ることが出来たのは私にとって良い経験になったなあと思います。

新聞の読み方や災害について教えてくれてありがとうございました。私は新聞は莫大しそうな物だと思っていたけれど簡単に読める物だと知れて言売もうと思いました。災害とはどれほどおそろしくて、いつでも備えないといけないということを私は矢知ることができたのでよかったです。

僕は、このキャリア学習を三好さんから学んで、あらためて、地震のことや、新聞のことについて知ることができました。新聞は一つの紙の束から18万冊の新聞ができるということを知らなかつたのでおどろきました。地震はムービーで、ここまで人の命を危険にさらすものなのだなどと、あらためて感じました。あんな姿の町にはりつつも、もとの姿にもどせていることをすたく立派に思います本当にありがとうございました。



先日は、地震のことや新聞のことについての講演ありがとうございました。

私は、新聞を全く読まないけど、読んでおくと難しいけどおもしろかったです。また読むときがあったら、読んでみたいと思いました。

地震のことも小学校のときたくさん学んだけど、つらかった人がたくさんいたのだと改めて感じました。

先日は、神戸新聞のことをくわしく教えていただきありがとうございました。

一番印象的だったのは阪神・淡路大震災のことです。

私はこの地震を経験したことはないけど映像を見てすごいやれだったし、たくさんの方が亡くなったけどその中で神戸新聞を発行していて、たくさんの人に勇気と希望をあたえてくれたこと、たす。

今回は、新聞のことや震災のことについて、教えてくれてありがとうございました。新聞を発行するのも、さまざまな工夫がされていて、新聞を読む人達にとって分かりやすく、見やすい工夫されていると知りました。

また、阪神・淡路大震災のことについても、つらいはずなのに、その日の出来事を詳しく説明していただき、改めて震災の怖さを感じました。

先日は、心しんのことなどを教えてくださって、ありがとうございます。阪神あけびたいしんさいは、私は経験できていないから、神災のことをよくしれて良かったです。後新聞がどのようなふうになっているかもわかりました。神戸新聞をつくっている人たちは、朝から夜中まで新聞をついてほしいと思いました。先日は色々教えてくれてありがとうございました。

先日は、私達のために来てくださり、ありがとうございます。私は、小学生の時にハーバーランドの神戸新聞社に行ったことがあります。そこでたくさんの事を教えてもらいました。今回の講演を聞いてさらに神戸新聞社について知ることができました。災害が起きても、なんとか新聞を届けようとしていて、すごいなと思いました。これからは、もっと新聞を読んでみようと思います。

先日は葺合中学校におこし下さりありがとうございます。私は家で新聞をとっていないので、新聞についてあまり知らないし、知ることも無かったので、勉強になったことや新しく知ったことがたくさんありました。二限目の震災学習では、新聞記者さんの目線で阪神・淡路大震災について学び考えることが出来ました。

三好さん先日は、ありがとうございます。  
三好さんの講演はすごく楽しく学ぶことができました！僕たちは経験していないけどじいんの怖さについても知りました。この講演で学んだことを今後じいんがきたときにやくだてたいです。

先日は僕たちに講演をしていただき、ありがとうございます。おかげさまで神戸新聞について深く知ることができました。阪神・淡路大震災の時に神戸新聞社さんが「れた」け苦勞されたかを改めて感じました。これからもがんばってください！！

ぼくは、三好さんの話を聞いて新聞は多くの時間をかけて作られていて、ぼくは最初、コンピューターでしていたと思ったらほぼ素手でしていただいてすごいなと思いました。地震の時も一番速くに新聞を出して、災害にあった人に安心を届けていたのもすごかったです。新聞社全体の共通することは「人を大切にし一番速く安心を」ということを学びました。

三好さんの講演を聞いて、新聞のことをたくさん知れたり、地震のことにも、こんなに大変で辛い思いをしたんだねと、改めて知ることができました。

地震がきても、新聞社として新聞をつくっていくその姿勢に、すごいなあと感じました。これを機に、私も地震に備えようと思うことができました。

新聞づくりは、たくさんの方がいることを知りました。新聞社の情報収集力って、新聞づくりには欠かせない。大事なものを伝えていると知ることができました。ありがとうございました!

先日は葦合中学校へ講演を開きに来てくれてありがとうございました。こざいます。私の家は新聞をとっておらず新聞をじっくり見る機会はありません。講演の時に新聞を見て笑い笑ったりネットとかではわからない情報が載っていたりと自分のイメージと違っていて、おもしろかったです。阪神・淡路大震災は私たちが体験していませんが未来の子に伝えていきたいです。

先日は私たちのためにわざわざ中学校に来てくださり、ありがとうございました。

私たちはまだ大きな災害にあつたことはありません。ですが、阪神・淡路大震災をはじめ、たくさんの災害について学び、後の世代に語りついでいかなければいけないと改めて感じることができました。本当に、ありがとうございました。

先日は、神戸新聞と震災について教えていただきありがとうございます。自分は、神戸新聞社に小学校の校外学習で行ったことがあります。その時も、震災の時の写真や映像などがたくさんありました。神戸新聞社は、震災の時に一番人の支えになっていたんじゃないかと思いました。

先日は、地震についてや、神戸新聞社へのお礼を聞いて私は体験していたことが冷静な気がした。冷静ではいられなかったかと思えた。新聞を被災した人へ、地震の被災者に向けて作るのは私もやりたいと思いました。これから頑張ってください。

先日は、僕たちのために講演をして下さってありがとうございました。先日の講演で新聞を作るのはそんなに難しいと思っていたが、講演を聞いて作るには大変な作業があると初めて知りました。阪神、淡路大震災のときでも新聞を作っていたのが、じつはこうなのには仕事をしていることに驚きました。本当にありがとうございました。

先日は、たくさん新聞の話をしてくれてありがとうございました。

新聞の動画をみて思ったことは、いんさつするのが早いなあと感じました。

新聞を見てコロナという記事が何個のってるか、こやつで自命は2020

しかみつり体なかつたけど2020より多いと言うは知ったとき、とても

びっくりしました。私は新聞を読まないから初めて知ったけど同じような

記事がたくさんあってあんな大変ななあと思いました。新聞のことで人に知っておくのが、

先日は新聞と地しんのことについてたくさんのことを教えて

くれてありがとうございました。私のおじいちゃんが神戸新聞を

毎日読んでいたので、私も読んでみようと思いました。

これから、いつ地しんがおこるのか分からないから家族と

しっかり話し合って集合場所を決めたり、必要な物とかはかん

にためたりしようと思いました。

先日は、たくさんのお話を教えていただきあ

りありがとうございました。特に震災につい

てたくさん教えていただきました。阪神淡路

大震災ではたくさんの方が亡くなり、たくさん

の方がけがにあつたしんごい思いをしたと思ひ

ます。だからこそ三好さんの話を聞いてとてもお

んながかんばったんだと思いました。

先日はありがとうございました。

私は、小学校のころに神戸新聞社に行っていろんなことを学ばせていただきました。なので三好さんのお話を聴いて「あーこんなだったな〜」や「え!こんなこともするんだ!」と始めて知ったこともありました。本当にありがとうございました。楽しかったです。

この間は新聞のことや地震のことについて教えてくださりありがとうございました。三好さんの講演を聞いて、

一番印象に残っているのは、地震のこわさについてです。家の中にある家具が次々とおちてきていて、とてもこわかったです。また、自分でも新聞や地震について調べてみたいです。

三好さんへ

いろいろなことを教えていただきありがとうございました。  
「災害がおきても新しい情報をみんなに伝えたい」という強い思いがあったから、きびしいじょうきょうのなかで新聞をつくったのではないかなと思います。これからも、神戸新聞社のみなさん、がんばってください。

先日は、たくさんのごことを教えていただき、ありがとうございました。神戸新聞社のごことをきいて、新聞に興味をもちました。また、テレビもラジオも使えない災害時には新聞は唯一の情報源であり大切だということも学びました。これからは、新聞も使って社会のごことを知りたいと思います。

先日は、葺合中学校に来ていただき、ありがとうございました。三好さんの講演を聞き、私たちは新聞社の仕事の大変さや震災の恐ろしさについて知ることができました。新聞は震災のとき、とても重要なものだと思います。私はあまり新聞を讀みませんが、これを機会に讀んでみたいと思います。

先日は、いろいろなことを教えていただきありがとうございました。私は新聞をじっくり讀んだのは、学校の授業でしかほほなかったです。でも、中学生になってじっくり讀んでみると、たくさんニュースがのっているし、テレビやネットでは不確かなものもあるけど、新聞は信用して讀めると思いました。また新聞も讀みたいと思います。



先日は、暮合中学校にお来いただき、  
ありがとうございました。三好さんの講演を聞いて、  
大震災があっても、情報を伝えようとしていたことや、  
ボランティア活動をして、みんなを支えようとしていたこと  
を知り、感動しました。僕は、ボーイスカウトに入っていたので、もし震災が起きたら、三好さんのようにみんなを支えたいです。